

# 平成24年度

## 第2回中央区環境行動計画推進委員会

日 時 平成25年1月30日(水) 14:00～16:15

場 所 中央区役所 別館6階A会議室

### 【議事の概要】

#### 議題(1)中央区環境行動計画事業等の推進状況について

##### 「自然エネルギー及び省エネルギー機器等導入費助成金」

##### 〈委員からの意見等〉

- 自然エネルギー及び省エネルギー機器等導入費助成制度の助成金の予算を、年度途中で消化しきってしまったとあったが、来年度の予算措置はどう考えているか。

##### 〈区の回答〉

- ・ 現在省エネに対する意識が高まってきているため、来年度の申請件数も多くなると考えている。

その中で、平均して多くの方に助成が出来るような形にしていくため、一般的に普及し、標準仕様となっている家庭向けエコジョーズ等を対象から外し、別の省エネ効果の高いものに変える。LED照明について、事業所向けに工事を伴うもの及び、マンションの共用部分に対する助成に切替える。また「中央エコアクト」の認証事業者に対する上乗せ率を変更するなどを、現在検討している。

##### 「中央エコアクト」

##### 〈委員からの意見等〉

- 申請数と認証数が乖離しているのは何故か。
- もう少し認証のレベルの設定を下げる事も考えてみたらどうか。
- 事業者用の認証数が、計画と比較して進捗が捗々しくないが、今回紹介してもらった「認証ステッカー」のほかに、認証数を目標に近づけるための啓発物等の考えはあるか。
- 事業者用の「認証の有効期間が2年となっているが、事業者にとって更新が負担になっていないか。更新している事業者も多いので支障は無いかも知れないが、更新時にはどのような手続きが必要なのか。また更新時には、新たに認証書を交付しているのか。
- 補助資料の「中央エコアクト申込者数の推移」に、そろそろ更新の件数のデータも入れて欲しい。

## 〈区の回答〉

- ・ 家庭用を例にとると、申請時は興味を持って申し込むが、実際に一定期間取り組みを実行していくとなると面倒になっているのではないか、などが考えられる。
- ・ 申請数と認証数の乖離については、前回もご意見を頂いているが、原因の把握と対策についてしっかりと取り組まなければいけないと認識している。従前、3シーズン取り組んで頂いて認証していたものを、簡便に取り組み易くしたが、中々続かないのが現状であると思う。
- ・ 当面まだ制度の認知度が低いので、「認証ステッカー」を使用して、普及をしていきたいと思っている。また、環境の拠点施設として開設予定の環境情報センターに、企業・事業所の方が集まる機会が増えると思うので、その中で制度の説明などを行い、協力をお願いしていきたいと思っている。
- ・ 事業者用の更新時には、当初の取組を継続して取組んでいるかを書類で確認し更新を行い、更新の認証書を交付している。また、自然エネルギー機器の導入の上乗せを計画している事業所は、進んで更新の手続きを行うとともに、助成制度を利用して計画的に機器の導入を行っている。
- ・ 次回以降、補助資料の「中央エコアクト申込者数の推移」に、更新の件数のデータを記載する。

## 「コミュニティサイクルの導入」

### 〈委員からの意見等〉

- コミュニティサイクルの導入可能性の検討は、いつ頃実施するというような計画の中で考えているのか。そういった意気込みがあった方が進捗も早いのではないかと。
- 既にならな所で行っていると思うが、銀座のような所を抱えている中央区で導入すればアピール効果も大きいし、良いのではないかと。
- 何年も検討を続けるのではなく、来年度あたりには事業化に向けてのフローを確定していき、いつ頃開始しますというような見解を示して欲しい。
- 実証実験などの実施にあたっては、国などから補助金をもらえる可能性もあるのか。

## 〈区の回答〉

- ・ 現在民間の運営事業者に、都心部でコミュニティサイクルの事業展開が出来ないかとの相談を頂いている。また導入に向けては、まず都心部でコミュニティサイクルのステーションの設置場所を確保するのが難しく、歩道上をうまく活用できればとの話もあるが、歩行者との関係などもあり整理すべき課題が多い。区としては是非実施していきたいが、今の段階でいつから開始します、とまでは至っていないのが実情。ただ、なるべく早く実現していきたいとは思っている。
- ・ 導入可能性調査については、本年度初めて調査を行っており、来年度は行う予定はない。また導入に向けては、採算性もあるが歩道上や公開空地などにポートを設置出来る可能性のある場所を特定する事などが重要であると思う。

なお事業化については、調査結果を踏まえて導入の可能性（民間事業者による実証実験の可能性も含む）について引き続き検討して行く。

- ・ 実証実験などについては、補助金の活用もあるが、今江東区が豊洲のあたりで行っている社会実験は、企業がすべて拠出している。

## 「未利用エネルギー調査」

### 〈委員からの意見等〉

- 未利用エネルギーの話は、清掃工場以外何かあるか。
- バイオマスについては、コスト的には採算が合わないかも知れないが、積極的にやっていくという姿勢を打出す事で他の地域も乗って来るような形になれば、コスト削減も図っていきけるような気がするので、もう一段詰めていって頂きたい。
- 地中熱の利用も考えて良いのではないか。また、この調査は、まだ続けていくのか。
- 新しい技術や注目される技術が出てくれば、改めて検討していくという事か。

### 〈区の回答〉

- ・ 未利用エネルギーについては、区内の紙や生ごみを利用できないかの検討も行っている。
- ・ バイオマスについては、事業採算性も含めて可能かどうかも見ているので、現実的に成功している事例を参考に、晴海地区でどう出来るのかの検討を現在行っている。
- ・ 未利用エネルギーの調査は、平成23年度より晴海の清掃工場や、区内の河川・運河の温度差を利用した発電を含めて幅広く検討したが、採算性・実用性を含め、清掃工場の余熱の利用、紙ごみ・生ごみのバイオマスを利用して熱や電源にするという2つに絞られてきた。

地中熱については、ある程度実用化・普及もしている。また河川水の熱利用も、箱崎の日本IBMで使用されている。これらについては、事業者の方々と一緒に普及させていく。

なお、調査については今年度で終了するが、来年度以降は、取りまとめた調査内容をもとに関係機関へ働きかけるなど、新しく出てくる技術に注目しつつ、検討を続けていくつもりである。

## 「中央区立環境情報センター」

### 〈委員からの意見等〉

- 愛称の募集は行わないのか。
- 環境区民会議などを利用して、愛称名を募集したらどうか。
- 開設後しばらくたったら、施設運営についてアンケートなどで調査して頂きたい。
- 開設されたら、そこに江戸バスの停留所は出来るのか。バスの利用が非常に増えているので、施設の前に停留所があれば利用も増えると思う。
- 最寄りの地下鉄京橋駅内や、道路上に案内版を是非設置して欲しい。初期費用は掛かるかも知れないが、開設当初はなるべく大きいものを設置して欲しい。

### 〈区の回答〉

- ・ 愛称名については、開設後に広く募集しようと考えている。
- ・ 開設後の評価については、運営者として施設の利用者の立場にとっての意見を聞く手段を講ずる。

また、運営にあたって環境区民会議や地域の団体を交えた検討会のようなものを設け意見を吸い上げ、施設でのそれぞれの活動を評価し合える仕組みを構築する。

- ・ 施設前に江戸バスの停留所の設置は予定していない。
- ・ 江戸バスは、現在南循環・北循環で運行しているが、現状のルートで1周に要する時間が、所有しているバスの台数で1日運行していくのにギリギリのルート距離となっている。

ただ、毎年ルート変更の見直しは行っているのですが、今後ルート変更をする際に乗車間隔が広がらないなど、停留所の設置については、内部検討をさせて頂きたいと思う。

- ・ 地下鉄のコンコースと環境情報施設の建物の入口が、地下部分で接続する事になっているので、東京メトロに出口案内とともに施設の案内板の設置をお願いしていきたい。

## 「中央区環境区民会議」

### 〈委員からの意見等〉

- 定数は決まっているのか。また、登録数の意味は何か。
- 昨年の参加者数が22名とあるが、規模としてはこの程度のものか。またこの位の規模だと、かなり密なディスカッションが出来ると思うので、是非今後も参加された方には、色々ご意見を頂く機会を設けて欲しい。

### 〈区の回答〉

- ・ 定数は定めていない。登録数とは、個人・団体等を含め現在登録されている累計数。
- ・ 会議の参加者は、だいたい昨年の実績程度。(今年度中に1回開催予定)

## 「駐輪場の整備」

### 〈委員の意見等〉

- テレビ報道等で、東京駅周辺の放置自転車の問題が取り上げられているのを観たが、何か対策は考えているか。
- 人形町駐輪場の償還を計上とあるのは何の事か。

### 〈区の回答〉

- ・ 現在、千代田区と中央区合わせて800台程の放置自転車がある。都内の駅では赤羽駅に次いで2番目に多い状況であり、東京都を中心に事務レベルで今年の1月に、警視庁・JR・東京地下鉄・道路管理者・中央区・千代田区などの関係者により検討会を始めた所である。

この会議は、今後警視庁を中心に夏までに3回開催し、駐輪場整備のために具体的に設置場所を確保し、放置自転車の数を減らしていくという流れで進めていく予定になっている。

中央区においては、八重洲口の地下街や地下駐車場があったりという土地利用状況で、駐輪場の設置場所の確保は中々難しいが、少しでも作れる場所があれば作っていききたいとの考

えをこの会議に提案し、増設していきたいと思っている。

- ・ 人形町駐輪場の償還を計上とあるのは、PFI 事業で人形町駐輪場の建設をした際の償還額を、経年的に計上しているものである。

## 「PM2.5」

### 〈委員の意見等〉

- 大気汚染・有害物質対策の推進で、新しい話題として PM2.5 というものが盛んに報道されているが、日本では2009年から環境基準（2009年9月9日「微小粒子状物質による大気汚染に係る環境基準について」（環境省告示））が設けられ測定が始まっている。中央区では、いつ頃からこの測定を始める予定か。
- 区のホームページを観ると、庁舎付近の測定数値を独自で公表しているようだが。
- これから新しい環境基準で不適合のケースが出てくるかと思うので、区民の関心も高まってくるかとも思う。今後は、もう少し PM2.5 についての情報を集めるような取り組みの検討を提案する。

### 〈区の回答〉

- ・ 中央区においては、常時計測の測定機器の中に PM2.5 の測定機器を持っていないので、区内にある東京都の測定所の測定データを受けている。  
また、今後の対応を政策としてどうしていくかについても、東京都の考え方を受けながら連携を取って進めていくつもりである。

## 「エコポイント」

### 〈委員の意見等〉

- 中央区の買物券とドッキング出来るようなシステムの導入をすると、家庭用のエコポイントも身近になるのではないか。また、エコ・アクションポイントの実績も上がっていくのではないか。現在、ポイントは貰えても、それをどのように利用していけばいいのかが認知されていないように思う。
- 地域活性化と抱き合わせで入れていくという事で、買物券とドッキングの様な話はいい話だと思う。元々は地域への配慮がベースにあると思うが、身近な所から対応していくのがいいと思う。

### 〈区の回答〉

- ・ エコポイントについては、区で考えている事業としては中央区の森寄附金はもとより、中央区内共通買物券のようなものも考えられるとは思っている。  
今後も、効果が高い形を組み合わせでやっていく事が必要だと思うので、引き続き検討していきたい。

## 議題(2)「平成24年度主要事業の報告」

## 「中央区立環境情報センターの設置」

### 〈委員の意見等〉

- 環境活動団体とは、特定の団体が既に決まっているのか。
- 展示情報コーナーに、檜原村の歴史本であるとか水辺の資料であるとか、様々な情報を得られる図書館的な雰囲気オープンスペースを作って頂きたい。ここに来れば環境に関することがある程度調べられるとなれば、子供達やその保護者を含め色々な方に集まってもらえるのではないかと思う。

### 〈区の回答〉

- ・ 環境活動団体は、例えば区内在住であるとか、環境活動を行っているとか、営利を目的としないなどの条件を設定し、合致していれば登録できる形にしていきたいと考えている。

## 「中央区未利用エネルギー調査」

### 〈委員の意見等〉

- バイオマスエネルギー利用に関する検討について、事業系も含めてされていると思うが、今中央区内で排出されている生ごみの量が分かれば教えて欲しい。また、仮にバイオマス利用の可能性があるとなった時に、自治体の事業として行うのかなど、そのあたりのイメージを教えて欲しい。
- 事業採算性には区独自の考え方が入ってくるのか。また、補助金などがあれば何年か後にはプラスになるとか、施設建設の費用をどこが負担するかなどの検討もしているのか。
- バイオマス関係で、廃食用油の回収・再生の可能性はないのか。
- 昨年か一昨年かと思うが、銀座の飲食店の廃食用油を集めてソニービルで開催された「沖縄美ら海水族館」の発電機の燃料に使用する取り組みがあったが、1回で終わってしまったようだ。

### 〈区の回答〉

- ・ 中央区が収集している事業系の可燃ごみ約20,000トンのうち、生ごみは14,000トン位、紙ごみは2,000トン位。また、事業者が直接委託している業者から搬入される可燃ごみにおける生ごみの割合は6割で、量としては21年度のデータで、年間で41,500トン位。紙ごみについては、約6パーセント程度で4,200トン位。
- ・ 仮にバイオマス利用の可能性があるとなった場合の事業スキームについては、民間事業者が主体となる場合、あるいはPFIを含む公共事業として行う場合、地域熱エネルギー供給で行う場合、また清掃工場の建替えの際にバイオマスを入れるのであれば清掃一部事務組合が行うなど、そういったカテゴリーの中でスキームを設定して事業採算性がどうなるかといった所を現在検討中。
- ・ バイオマスについては、江東区で1度実証実験を行っていて、毎日10トン以上の生ごみ・紙ごみがないとエネルギーがプラスに転じないという結果が出ている。また、補助金の交付なども複層的に検討している。

- ・ 未利用エネルギーというものについて、23年度に網羅的に検討した中で、今は可能性の高い生ごみ・紙ごみのバイオマスエネルギーと清掃工場の排熱利用の2点に絞って具体的な調査を行っており、今現在廃食用油は、検討対象としていない。
- ・ 廃食用油の再利用については、未利用エネルギーの検討より前に検討したが、週に1回拠点回収は行っているものの、回収量も非常に少なく伸びもなく、大手の事業所などは自分の所で使ってしまったなど、エネルギー化の期待は出来なくなった。

## 「中央区の森環境ふれあい村構想」

### 〈委員の意見等〉

- 平成24年度の取り組みに中央区の森体験ツアーが記載されていないが、これは継続事業だからか。多くの人が利用したり参加しているんだよという事を表現しておくのも重要だと思うので、今後は実績も記載するようにして下さい。
- 中央区協働事業によるツアーと、中央区の森体験ツアーとは大体似たようなものか。
- 中央区協働事業によるツアーは、中央区環境保全ネットワークが助成金を受け、区内在住・在学の親子を対象に募集を行い、抽選の上実施した。定員の2倍以上の応募があり、参加された方達には皆さん喜んで頂けた。  
中央区の故郷を発見するツアーにしようと実施したが、保護者の中には木で出来た家がある事が信じられなかったなどの感想を持った方もいるなど、皆さん自然に触れて本当に満足して頂けた。また参加者の中には、感動を受けこの村にお嫁に来たいなどの感想を持つ子供もいたようだ。
- 資料には参加者の実績数だけでなく、写真を付けたり応募者数を記載するなど、もう少し記載の仕方を工夫した方が良いと思う。
- 事業者向けのバス代の補助が50パーセントに減ったために森林保全活動の参加団体が減ったという説明があったが、従来参加していた団体が何故参加しなくなったかは、リサーチしておいた方がよいと思う。
- 予算ベースと実績ベースが混同した資料は、分かりづらいので改めるように。
- 中央区協働事業によるツアーのような事を展開するメリットなり、きっかけなりを上手く使っていけば、企業にとっても、親と子供が接触するチャンスとして使ってもらえれば非常に良いことだと思う。また方法論としても、34名参加したバスツアーは参考になると思うので、企業に案内してもらえるとよいと思う。
- 森林保全活動などについては、面積だけでなくボランティアを含めた人工(にんく)の記載があると大変さ重要さが伝わってくると思うので、表現方法を工夫して欲しい。面積だけだとどうもピンと来ないので、森林保全にはこれだけの人と時間がかかっているんですよといった所が分かるような表現を考えて頂きたい。
- 中央清掃工場の排熱利用の中でオリンピックの選手村の話があったが、オリンピックが誘致されなかったらしないという話ではないですね。

### 〈区の回答〉

- ・ 平成24年度の取り組みについては、充実と新規のみの記載で、中央区の森体験ツアーの記載について配慮が足らなかった。次回以降修正する。
- ・ 事業所による森林保全活動の参加団体については、23年度は予算ベースで4団体と記載しており、実績ベースによる記載の24年度の2団体は、半減したように見えるが、毎年4団体参加していたというわけではない。(次回以降は、資料の表現を修正する。)
- ・ 次回以降、森林保全活動などについては、面積だけでなくボランティアを含めた人工(にんく)の記載をするような形で資料をまとめる。
- ・ 中央清掃工場の排熱利用については、元々地域の地区計画があるので、将来の晴海地区のまちづくりを想定して検討している。ただ選手村が来れば非常に現実的にはなると思う。

以上